

舞鶴文化公園体育館における再生可能エネルギー導入実装事業を実施します ～再生可能エネルギーの導入促進・自給率向上への挑戦～

舞鶴市では、2019年4月、2030年に向けて日本の地方が抱える課題解決を検討し、成熟社会における「便利で心豊かな暮らしを営めるまちづくり（自律社会）」の実現に向け、オムロンソーシアルソリューションズ㈱（以下 OSS）と包括連携協定を締結いたしました。

今般、OSS と舞鶴版 Society5.0 推進本部の連携の取組の一つとして、公共施設への再生可能エネルギー導入を促進し、再生可能エネルギー自給率向上を図るとともに、災害時における非常用電源を確保することなどを目的とした事業に取り組みます。具体的には、OSS のトータルエネルギーソリューションを活用し、文化公園体育館に、太陽光発電設備、LED 照明器具設備など、再生可能エネルギー及び省エネルギー設備を導入する実装事業を実施します。

1. 事業目的

文化公園体育館に発電・蓄電・省エネ設備を導入することにより、再生可能エネルギーの自給率を高め、温室効果ガスの排出量の抑制を図るとともに、エネルギーの分散化を実現し、避難所としての防災機能の向上を目指します。加えて、発電データをモニターで可視化することにより、再生可能エネルギーの啓発活動、環境教育の場に活用します。

2. 事業概要

本事業は、OSS が事業主体となり、環境省の補助金「令和2年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（地域の防災・減災と低炭素化を同時実現する自立・分散型エネルギー設備等導入推進事業）」の交付を受け、舞鶴市との共同事業により実施するものです。

なお、導入設備は OSS が保有し、舞鶴市はその設備をリース契約で10年間使用。その後、設備を本市へ無償譲渡していただきます。

リース方式の導入により、本市にとっては初期投資が発生せず、再エネ設備の導入、また、LED照明機器の更新等が行えることとなり、再生可能エネルギーを導入した持続可能な公共施設の管理運営を実現するものです。

また、文化公園体育館は避難所に指定していることから、本取り組みによって、災害時には、その自立的な電源により照明・通信機器等の使用ができるなど防災体制の強化を図ることにもなります。

【お問い合わせ先】

市民文化環境部 環境対策室 生活環境課 地域エネルギー推進担当課長 江上

【☎】0773-66-1064（内線1297）【FAX】0773-62-9891【E-Mail】kankyou@city.maizuru.lg.jp

3. 導入設備

【太陽光発電設備】

・太陽光パネル（32k w）と蓄電池（58k w）を設置し、日中は施設の電力として使用しながら蓄電池に充電します。また、夜間や災害時には昼間に蓄電した電気を使用します。

【LED照明設備】

・LED照明器具（450台）により消費電力を抑制することで、CO2排出量を削減することができます。また、災害時には自動調光設備により必要最小限の照度を確保し、余分な電力をカットすることで、蓄電した電気を長時間利用することができます。

【EMS：エネルギーマネジメントシステム】

・EMSでデータ集積を行うことにより、リアルタイムに設備の稼働状況を把握することができる他、データ分析することにより今後の運用改善に繋げることができます。また、発電データをモニターで見える化することにより、施設利用者に再生可能エネルギーについてPRするとともに、環境学習の場にも活用することができます。

4. 導入費用

事業費：約5,500万円

リース料：約360万円／年

（再エネ・省エネ設備の導入による電気料金の削減でリース料を確保する仕組み）

5. 導入スケジュール

令和2年11月下旬	設置工事着手
令和3年1月下旬	設置工事完了
令和3年2月～	運用開始

【お問い合わせ先】

市民文化環境部 環境対策室 生活環境課 地域エネルギー推進担当課長 江上

【☎】0773-66-1064（内線1297）【FAX】0773-62-9891【E-Mail】kankyoku@city.maizuru.lg.jp